

新国立競技場整備事業に係るアドバイザー会議（第4回・持ち回り）

平成30年6月12日～27日

事務局より、以下のとおり各アドバイザーに対し資料1について説明し、助言を求めた。

【事務局】関係閣僚会議の議題としてご確認いただきたいことがあります。陸上トラック舗装を本体工事から切り離して、組織委員会がオーバーレイ工事として行うことです。

各アドバイザーから、以下のとおり助言を頂戴した。

【〇〇】組織委員会の要請を受けて行うということを簡潔に言い切るべきです。

【事務局】閣僚会議では、組織委員会から要請を受けたので、事業から切り離しましたと説明する予定です。

【〇〇】路床、路盤はどちらが施工しますか。

【事務局】JSCが施工します。

【〇〇】金額はどのくらいになりますか。

【事務局】概ね3億円になります。

【〇〇】工事費は組織委員会が決めることになるのではないですか。

【事務局】我々の工事からはこのくらい減額するという目安です。

【〇〇】工期や、施工の取り合いは新国立の事業者であるJVが関与するのですよね。

【事務局】別途工事として組織委員会が契約したトラック舗装業者が入り、その調整はJVが行うという整理になります。2019年11月末までに工事が完了するよう、組織委員会と調整をしていきます。

【〇〇】事業者であるJVは了解しているのでしょうか。

【事務局】金額に関しては、事業費からトラックに関する部分を取りやめるということなので、機械的に事業費を整理すれば確定する内容になります。事業から切り分けるということは既に協議をしております。

【〇〇】了解しているのですよね。トラックの工事は2019年11月の引き渡し以降にやるのでしょうか。

【事務局】他の別途工事と同じような形で組織委員会が入ってくるので、新国

立事業者のJVの調整下で作業をしていただくということになります。

【〇〇】本体工事が遅れるということはないでしょうね。

【事務局】そこも含めてきちんとやっていただくという前提でJV及び組織委員会と調整をさせていただきます。

【〇〇】最初の段階、優先交渉権者が決まった段階ではトラック舗装もやるという内容であったのでしょうか。

【事務局】要求水準書の中にフィールドの整備が入っていますので、事業の対象になっていました。

【〇〇】それを外してしまうということですね。つまり、減額されるのですね。

【事務局】そういうことになります。今回のアドバイザリー会議での報告事項としては、整備区分が変更されるということと、それに伴って概ね3億円減額されるということの説明になります。

【〇〇】なぜ変更になったのでしょうか。

【事務局】IOCの規定の中にトラックの仕様については国際陸上競技連盟の指定する仕様にてできるということが明確に規定されており、それに基づき、組織委員会から変更の要望があったためです。詳細な説明は全て組織委員会に行ってくださいことにしています。

【〇〇】普通は国際陸連の指示に従って、組織委員会がJSCに仕様変更の指示を出して、JSCが工事の変更として施工するものだと思いますが、整備主体がJSCから組織委員会に変更されるということの、わかりやすい説明ができるのでしょうか。

【事務局】組織委員会の判断で、国際陸連が指定する一者の仕様で整備をしたい、という要望を受けているためです。

【〇〇】そういうことですね。組織委員会が特定の仕様でやりたいと。JSCとしては、本来見積合わせとか競争条件を設定した上で対応することになるのだけれども、そういうことをしないのだから、組織委員会でやってもらうという話ですね。

【〇〇】組織委員会は財源に困っているのではないのでしょうか。また別の形でどこかでまわってくることはないのでしょうか。

【事務局】オリンピックの規程の中では、特定一者の指定が出来るけれども、それにあたっては無償で提供することが原則になっており、その企業から無償で提供されることになると聞いています。

【〇〇】こちら側としては、安くなりましたよ、ということ世の中に言えたら問題ないということですね。

整備区分が変更されることと、それによって概ね3億円の減額が生じることについて、各アドバイザーから了解を得た。また、これらの内容の妥当性についてアドバイザリー会議にご確認いただいている旨を関係閣僚会議において説明することを、了解いただいた。